



赤

心



8月

二学期が始まりました。開始早々、「不審者に関する安全確保」「台風9号接近に伴う始業繰り下げ」など、保護者の皆様にご協力いただきありがとうございました。

幸い、不審者や台風による被害もなく、子どもたちは落ち着いた学校生活を送っています。これも、保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご支援によるものであり感謝申し上げます。

さて、8月23日（木）の始業式にて、本校学校長が『二学期の心構え』について話しました。今回の学校だよりにはその内容を掲載しました。お子さんと一緒に読んでいただいたり、お子さんに分かりやすく語っていただいたりすることで、子どもたちはより深く理解し、二学期への心構えがより確かなものになるものと考えております。

始業式(8月23日) 「お墓に眠っているご先祖さまに手を合わす」 「学校の顔」「引き継ぎ」「協力」

『 どんない夏休みだった？ さあ、二学期が始まりました 』

おはようございます。今、皆さんの顔を見わたしてみると、こんがりと健康的に日焼けをし、みんながとても元気そうで安心しました。楽しかった夏休みもあっという間に終わってしまいましたが、皆さんにとってどんな夏休みになりましたか？

休み前に、「やる気 本気 元気の三つの気で何かに取り組んでみないか」というお話をしましたが、みなさんは、どんなことに取り組みましたか？ もう担任の先生やお友達に話をした人もいますが、校長先生にも休み時間など校長室に来て「こんなことをやったよ」と教えて欲しいと思います。校長室前の扉を開けておきますから遠慮なく話しに来てください。

私は、おじいちゃんの生まれた麻績村とお父さんの生まれた上田市の塩田と言うところにあるお墓参りに行ってきました。どちらも、山の中腹にあります。親戚のおじさんやおばさんが大切に守ってくれていて、とてもきれいになっていました。そこには、江戸時代の年号が彫ってある石塔もいくつかあって、今から300年以上も前のご先祖様の石塔もありました。

私は、そこで静かに手を合わせて、今の自分のこと、私の家族のことなどを報告し、「これからはお守りください」とお参りをしました。そのとき「大昔のご先祖さまから今の自分に命がつながっているんだなあ 生かされているんだ」ということを改めて感じました。そして、「今あるこの命を大切にしたい」と思うと同時に、これらのお墓に眠っているご先祖さまに自然に手を合わす自分がありました。

さあ、きょうからいよいよ二学期が始まりましたね。2学期は、学校生活の中で登校日数が一番多くて、4ヶ月余り、日数にして84日あります。今はまだ「暑い暑い」と言って水泳をしています。12月にはいると場合によっては雪が降り始め、セーターやジャンパーを着ていることでしょう。夏から秋が過ぎ、冬へと変化していくとても長い期間です。この二学期には、どの学校でもいろいろな取り組みをします。

どんなことがあるかという、延期になっていた6年生の臨海学校 各学年の社会見学や遠足 体験教室 交通安全教室 祖父母参観日 音楽会 杏っ子祭り それと先生たちの研究授業などがあります。

クラブは11月に、児童会活動は、12月にまとめの時期を迎えます。特に6年生の皆さんは、学校の顔として先頭をきってさらに学校を引っ張って行ってください。5年生の皆さんは、二学期が終わると6年生から色々引き継いでいきます。今から6年生の仕事ぶりやその姿を見習って、心の準備をしていきましょう。4年生以下の皆さんは、5・6年生の皆さんの協力をしてどんどん仕事をして、みんなでこの安茂里小学校の学校づくりに力を貸してください。皆さんの活躍を期待しています。

○6年生が臨海学校に行ってきました



6年生臨海学校 学年目標 自然と親しみ、いい思い出をつくろう

以前、お知らせしましたように、新潟県中越沖地震の影響で延期になっていた6年臨海学校を8月30日・31日に実施しました。8月も下旬になっており浜茶屋は解体されたりしていました。時期的に、海水浴ができませんので、代わりに「刺し網体験」「魚のさばき体験」「砂浜での造形遊び」などを企画しました。「刺し網体験」「魚のさばき体験」の様子は、当日、信越放送で放映されましたので、子どもたちの楽しそうな様子をご存じの皆様も多いかと思います。

他にも、「上越水族博物館でのペンギンへのえさやり」や「夜の海岸での花火やきもだめし」「リージョンプラザ上越での2種類のスライダーと深さ3mの潜水プール」などなど、たくさんの思い出をお土産にすることができました。

思いもよらぬ天災によって延期・実施した臨海学校でしたが、一人一人の「みんなで思い出をつくりたい」という願いによって、6年生全体の忘れられぬ思い出につながったものととらえております。一人一人の願いが団結した素晴らしい臨海学校でした。

○児童会副会長 木内太郎さん 堂々と発表

6月30日に開催されました「安茂里地区 児童生徒の健全育成を進める会」にて、木内太郎さんが、安茂里小学校代表として発表しました。その内容の一部を紹介します。

『ぼくの安茂里小学校』

ぼくの学校を紹介します。安茂里小学校には赤心館という古い校舎があります。これは昭和7年に建てられました。これを計画した人は「赤尾善治郎」という人です。なぜ、赤心館と言われているのかは、善治郎さんの情熱の真心によって造られたからです。《中略》地域の人たちが「伝統があり、大切な校舎なので、ずっと守っていききたい。」という願いから、赤心館は今でも残っています。《中略》赤心館の清掃は伝統的に6年生の担当です。いつから始まったのか分かりませんが、6年生が赤心館の朝清掃を8時から行っています。僕たちは赤心館を守り続けてきた人たちの気持ちを受け継ぎ、床がもっと輝くようにぞうきんがけをする6年生をめざしています。

安茂里小学校には三重点があります。一つは「よく遊ぶ子～遊びの豊かさを生かす学校づくり」、二つ目は「よく学ぶ子～基礎基本の確かな力を」、三つ目は「よくふれあう子～地域に開かれた学びを」です。僕はこの三重点を守っていききたいと思います。

まず、「遊び」です。僕たちがよくやっている遊びは、ケイドロ・ケント・Sけんです。《中略》これらの遊びを姉妹学級でも行います。姉妹学級では、高学年と低学年がペアになり、一緒にケイドロなどをして遊びます。これにより、下級生と仲良くすることができます。

次に「学び」です。それぞれの学年・学級で取り組んでいます。僕のクラスでは、家での勉強をしっかりとやることに取り組んでいます。もちろん授業も大切にしています。6年生として、今は「まとめ方」を学んでいます。自分の考えをまとめるだけでなく他の人へ発信するための工夫を考えています。それを、模造紙にまとめたり、パソコンでまとめたりして勉強しています。

最後に、「ふれ合い」です。僕の学校のふれ合い活動を二つ紹介します。一つは合唱団のデイサービスセンター交流です。年2回、お年寄りの方々に合唱を披露したり、一緒にゲームをしたりしています。《中略》もう一つは、5年生の安茂里幼稚園との交流です。来年入学してくる園児の皆さんと交流し、安心して小学校生活が始められるように、月一回くらい行っています。

《以下は次号にて紹介》

○学習指導の改善を目指し、授業研究会が目白押し

長野県では、「授業研究会の2学期」と言うほど、たくさんの学校で授業研究会が行われます。「生きる力」をはぐくむために、日々授業改善を行っており、その過程や結果・成果を教育委員会の先生方や他の学校の先生方にも参観・評価していただき、今後の改善につなげています。

本校でも、4回8クラスで授業研究会（9/13人權同和教育：3年2組・5年2組、9/27学級活動：2年2組・6年1組、10/2図工：5年1組・4年1組、11/26理科：授業学級は未定）を行います。